

授業の様子(6時間完了)

4 時間目



音の数(種類)を選択し、音カードをつないで旋律を作り、キーボードで演奏する一連の流れを確認し理解すると、黙々と取り組む姿が見られました。

音の数を増やしたり同じ音の数で異なる旋律を作ったりと、自分のペースで様々な旋律を作ることができました。作った旋律をタブレット PC で再生して、それに合わせてキーボードで弾くことで、絵譜(楽譜を絵で表したもの)と音の両方で確認しながら練習することができました。

また、タブレット PC で児童の旋律を流し、教師がそれに伴奏を合わせることで、実際に演奏したときの雰囲気イメージ

5 時間目



音の数を選択し、音カードをつないで旋律を作るという活動に慣れ、教師のわずかな支援で活動に取り組む姿が見られました。

演奏についても、旋律作りを繰り返す行うことで、鍵盤を弾く指の動きがなめらかになり、上達しました。

児童の実態に応じて、ワークシートや鍵盤に音階を書いた色のシールを貼ることで、読み書きが苦手な児童も活動に取り組みやすくなりました。

自分の技能や、興味関心に合わせて「旋律の音の数を選ぶ」という目標設定をしながら、楽しく旋律作りを行うことができました。

成果と課題

- 旋律作りの流れをいつでも確認できるように大きく掲示したことで、各自で確認したり、指導者と一緒に確認したりと、自分のペースで進めることができていました。
- 音カードをつないで音声を聞くことで、視覚と聴覚の両方から旋律を確認することができ、視覚優位と聴覚優位のどちらの児童でも演奏する際の手がかりになっていました。
- 音の数を自由に選択できるようにしたことで、次々と音の数を増やしていく児童や同じ音の数で異なる旋律を作る児童など、自分のペースで意欲的に取り組むことができていました。
- 教師に作った旋律を確認してもらった過程で、児童がタブレット PC やキーボードを持って並ぶことになり、活動が滞る場面がありました。